

29C16

平成30年2月7日

所属:名古屋工業大学大学院

社会工学専攻

氏名 原田優花子



平成29年度 助成 海外調査研究終了報告書 ※ゴシック文字で記入下さい。

渡航目的	The 18th Asia Pacific Industrial Engineering and Management Systems conference (APIEMS2017) に参加・発表
渡航日程と 海外での成果 (発表・調査など)	渡航日程: 2017年12月2日 大阪(関西国際空港)発～ジョグジャカルタ(アジスチプト国際空港)着 2017年12月3日～6日 APIEMS2017 に参加・発表 2017年12月7日 ジョグジャカルタ(アジスチプト国際空港)発～大阪(関西国際空港)着 海外での成果: 添付の論文を発表
研究内容 の概要	近年, 国内では高齢化と人口減少により地域の社会構造に変化がみられている. 均衡ある発展を望むことのできる地域は多くない. いくつかの地域では自治体を越えた広域連携が構築されている. 一方で, 特定の産業の発展に特化した地域もある. 地域のシンクタンクや NPO 法人といったローカルなサード・セクターは, 地域の成長をけん引するリーダーとしての役割を担うことが期待されている. 本研究ではそうしたサード・セクターの役割と活動する人材に求められる能力について, ローカル・シンクタンクのケーススタディをとおして明らかにする. 域外の知識を取り込み, 調査結果を地域で受け継がれる“知”に結びつける視点と能力を持った人材が必要である. こうした組織を持つ地域は創造性とレジリエンスに富んだ地域となると考えられる.

提出期限: 帰国後すみやかに助成金の「必要経費使途明細書」「領収書」と合わせて提出下さい。